

国民年金のお知らせ

「新成人の皆さんへ」

20歳になったら国民年金

国民年金は、老後やいざというときの生活を、現役世代みんまで支えようという考えで作られた仕組みです。



若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで①老後②病気やけがで障害が残ったとき③家族の働き手が死亡したときーに年金を受け取ることができる制度です。

年金額は「年金額のスライド」で実質価値を維持するために改定が行われます。また、基礎年金の半分は国庫負担(税金)でまかなわれています。加入案内は、20歳の誕生日月に日本年金機構から郵送されますので、必ず加入の手続きをしましょう。

国民年金のポイント

■将来の大きな支え

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納

める制度です。国が責任を持って運営するため安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

■老後のためだけではありません

国民年金には、年を取ったときの老齢年金の他、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったとき、また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族(子のある妻(夫)や「子」)が受け取れます。

「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

■「学生納付特例制度」

学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予されます。対象は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方

です。

■「若年者納付猶予制度」

学生でない30歳未満の方で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予されます。

保険料納付は

口座振替・前納がお得です

国民年金保険料には毎月納付と、1カ月分、6カ月分、1年分、2年分を前払いする方法(前納)があります。前納制度を利用すると、保険料が割引かれてお得です。口座振替による前納は、現金納付に比べ割引額が多くなります。

▽前納の申込方法・期限

- ・現金：申込み不要(送付される納付書で支払い)
- ・口座振替：口座振替を希望する金融機関の窓口または豊岡年金事務所まで2月29日(月)までに手続き。口座振替申込用紙は、市役所または各振興局の年金窓口にもあります。

▽前納の支払期日・方法

- ・現金：4月上旬に郵送される納付書で、5月2日(月)までに納付してください。
- ・口座振替：5月2日(月)に

指定された口座から引き落とし。また、6カ月前納の方の2回目の振替日は、10月31日(月)です。

●前納による割引額

平成28年度の保険料や割引額は未定のため、平成27年度の保険料額を基にした目安額を紹介いたします。

《保険料》

納付方法	1カ月	6カ月	1年分	2年分
現金支払い(月々)	15,590円	93,540円	187,080円	382,200円
現金支払い(前納)割引額	—	92,780円 760円	183,760円 3,320円	—
口座振替(前納)割引額	15,540円 (※早割) 50円	92,480円 1,060円	183,160円 3,920円	366,840円 15,360円

※口座振替による毎月納付の早割は、随時受け付けています。

豊岡年金事務所からのお知らせ

年金相談窓口を次のとおり時間延長します。

お越しの際には、年金手帳など基礎年金番号の分かるものと身分証明を持参してください。なお、代理者のときは、対象者の年金手帳など基礎年金番号の分かるもの他、委任状と代理者の身分証明を準備してください。

●1月9日(土)

午前9時30分～午後4時

●1月4日(月)、12日(火)、18日(月)、25日(月)

午前8時30分～午後7時

●電話での問合せ

- ・ねんきんダイヤル
☎0570-051165
- ・IP電話・PHS
☎03-6700-1165

●年金個人情報サービス

日本年金機構ホームページ
アドレス
<http://www.nenkin.go.jp/>

《問合せ》

日本年金機構豊岡年金事務所
☎22-0948、市役所市民課
☎21-9015または各振興局市民福祉課

日本スノーボード協会公認の滑走技術試験で、最難関の1級を取得している長男の玖君と次男の珀君。玖君は土日の2日間で2級と1級に連続合格する離れ業を成し遂げ、珀君は最年少に並ぶ5歳での合格。三男の玲君も二人の背中を追い、1歳からスノーボードを始めました。



(左から)珀君、玲君、玖君

と周囲の温かい協力。香美町でボードショップを営む里村幸夫さんは、人脈を生かしメーカとの橋渡し役となり、用品の無償提供を取り付けるなど、陰に日なたに支えてきました。「周囲の協力には感謝してもしきれない」と語る母の香さん。子どもたちには「常に感謝の気持ちをお忘れないうに」と言い聞かせてきました。その教えのとおり、兄弟は輝かしい実績にも慢心することなく、どこまでも謙虚。玖君の将来の夢は、ハーフパイプのオリンピック選手になること。兄弟は、それぞれ夢に向かってひた走りま

スノーボードに取り組む三兄弟 オリンピック出場を夢見て！

しまさき 嶋崎 玖君(9歳)・はく 珀君(6歳)・れい 玲君(2歳) 弥栄町



数々の大会で優勝・入賞の実績を積み上げています

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲3部門同時にスタート

キューピットマラソン大会 家族や友達との触れ合いを楽しむ

11月23日、たけのこうえん(竹野町須谷)で、第29回キューピットマラソン大会(主催・竹野町体育協会)が開催され、約60人のランナーが3部門(3km、5km、ジョギング)に分かれ、深まる紅葉を楽しみながら走りました。

コース近くにある猫崎半島がキューピットの愛称で呼ばれていることから名付けられたキューピットマラソン。親子で手をつないで走るランナーや沿道から声援を送る地域の方など、和気あいあいとした雰囲気の中で大会は終了しました。

少年野球のチームメートと参加した川口 温君(竹野小5年)は「みんなと走って面白かった」と仲間との絆を深めた様子でした。

豊岡劇場「地方創生」ビジネス・シンポジウム 豊岡の未来を考える

11月29日、豊岡劇場(元町)で、「地方創生」ビジネス・シンポジウムが行われ、豊岡中心市街地に関わりのある民間の人やまちづくりに関わる市の担当課長などが参加しました。

県立大学経営学部教授の西井進剛さんが「『地方創生』時代における地方都市の戦略づくり」について講演。パネルディスカッションでは、パネリスト5人が「豊岡に今何が必要かを問う」というテーマで意見を交わしました。

主催者である、豊岡劇場代表の石橋秀彦さんは「現在取り組んでいる文化的な事業と地元の製造業との連携で、中心市街地の活性化に貢献したい」と語りました。



▲パネルディスカッションの様子